

人間の安全保障無償資金協力：パラグァス・パウリスタ市婦人保健診療所建設計画



2004年10月26日（火）サンパウロ州パラグァス・パウリスタ市において、同市に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力の引渡式が開催されました。

同引渡式は、資金協力により建設された同市婦人保健診療所において、パラグァス・パウリスタ市からエジバルド・ハセガワ市長、同市保健局長等市関係者及び日系団体などから約100名が出席して盛大に実施されました。

>>祝辞を述べる石田総領事、左端はハセガワ市長

式典では、ハセガワ市長は、「非常に立派な婦人保健診療所を市民に引き渡すことができ、日本政府に感謝します。支援を得るまでに何回も領事館に足を運び、不足する書類を補ったりしましたが、既に10月1日より活動を開始しており、今は目的を達成出来たと思います。」と挨拶したほか、石田総領事の挨拶、顕彰プレートの除幕式、施設の紹介などが行われました。



顕彰プレートの除幕をするハセガワ市長
と石田総領事<<



○ 上記案件のプロフィール

案件名：「パラグァス・パウリス
スタ市婦人保健診療所建設計画」

被供与団体：サンパウロ州パラ
グァス・パウリス市

契約署名日：2004年1月13日

供与限度額：US\$78,342



新設なった婦人保健診療所

案件概要：

本件協力は、同市がかねてより女性の診療に十分対応するためには女性専門の保健センターが必要であることを痛感しており、女性診療の充実化を図るため新たに婦人専門の保健センターを設立し、現在の市保健所・センターの産婦人科スタッフ及び機材を集中し、アシスタントの組織化、診療の統一化、診療経費の効率化のための拠点となる「婦人保健診療所」建設を支援したものです。



本件協力により、同市の女性約1万9千人が裨益することになり、婦人ガン検診の普及・効率化、妊婦への指導助言の強化が図られ、乳ガン、子宮ガン等の早期発見が可能となる効果も期待されます。

<< 明るい色調の診療室内部